

モニター企画で仕事コストのダイエットを体験

社内の無駄とストレスを削減! A3カラーLED複合機「COREFIDO MC883dnwv」 モニターインタビュー(管理部門編)

5年間無償保証とメンテナンス品5年間無償提供という手厚いサポートに加え、シンプルな構造のLED方式であることを生かした「メンテナンスバリアフリー設計」と「クラウドメンテナンスプラットフォーム」により、高いメンテナンス性を誇るOKIデータの「COREFIDO3」シリーズ。スマートフォン向けゲームを開発する先進IT企業で、A3カラーLED複合機「COREFIDO MC883dnwv」を実際に導入していただき、その感想を聞いた。(ITmedia PC USERより転載)

今回ITmedia PC USERが実施したOKIデータ「COREFIDO MC883dnwv」モニター企画に当選したのは、スマホゲームの開発、運用を主要な事業とするオンラインゲームパブリッシャーのGameBank株式会社(以下、GameBank)。まさにイマドキのIT企業だ。その先進的なオフィス環境で「COREFIDO」はどう受け止められるのか。実際の使用感を聞いた。

COREFIDO MC883dnwvで 社内の“無駄”を徹底削減

GameBankで管理部門に在籍する小

松さん、斉藤さん、平林さんは、人事から経理、セキュリティや社内設備のメンテナンスまで、日々幅広い業務を行っている。いわば会社の“何でも屋さん”である3人は、これまで社内のプリント環境に幾つかの不満や不安を抱えていた。

その1つがトラブル時の対応だ。他部署で複合機に不具合が発生すると、まず真っ先に連絡が入るのが管理部門。簡単な紙詰まりや給紙程度なら管理部門で対応するものの、その度に自分の業務が中断される。

また、自己解決できない場合はメーカーに連絡して対応するが、保守スタッフの修理を待つ間は無駄なダウンタイムが発生



し、業務の生産性が大きく低下してしまう。「もともと、管理部門以外の社員は、何かトラブルが起きても複合機を開けるといふ発想がないので、簡単な紙詰まりなどでも対処できず、結局別の場所で印刷する、という風景が見られました。また、私たちが解決できないときは『使わないでください』と張り紙を貼って、保守員を待つのが当たり前でした」と小松さん。

そうした日々の業務の中で小松さんが興味を持ったのがOKIデータの「COREFIDO」ブランドだ。COREFIDOは、LEDヘッドの長寿命を最大限に生かした「5年間無償保証」を大々的に打ち出し、他社製ビジネス複合機では当然のコストとして考えられていた保守費用を大幅に削減。さらに続く第2世代の「COREFIDO2」では定着器ユニット、ペ



今回モニター企画に当選したGameBankは、スマートフォン向けのオンラインゲームを開発・運営するまさにイマドキのIT企業。その先進的なオフィスにCOREFIDO MC883dnwvを導入して頂き、実際の使用感をうかがった

ルトユニット、給紙ローラセットなど定期的
に交換を必要とするメンテナンス品を無償
提供する「メンテナンス品5年間無償提
供」で話題を呼んだ。

そして最新の「COREFIDO3」では、「メ
ンテナンスバリアフリー設計」および「クラ
ウドメンテナンスプラットフォーム」という新
たなサービスが追加された。詳細は後述す
るが、この新サービスはいずれもセルフメ
ンテナンスを強力にサポートするための機構・
機能である。

いずれにせよ5年間無償保証があるた
め、トラブル時におけるCOREFIDO2と
COREFIDO3のメンテナンスコストに差は
ないが、ビジネスシーンにおいては、時間的
なコストが金銭的なコストに勝ることは往々
にしてある。数時間を浪費してサービスマ
ンの到着を待つよりは、自らただちにトラブ
ルを解消するほうがはるかに効率がよい。

COREFIDO2でも簡易なメンテナ
ンスへのアプローチは行われていた。実際、
以前にCOREFIDO2で行った読者モ
ニター企画でも、メンテナンスの容易さを称
賛する声は度々耳にした。こうした声を受
けて、さらにメンテナンス性に注力したのが
COREFIDO3であり、より積極的に本体
の機構として取り入れている。

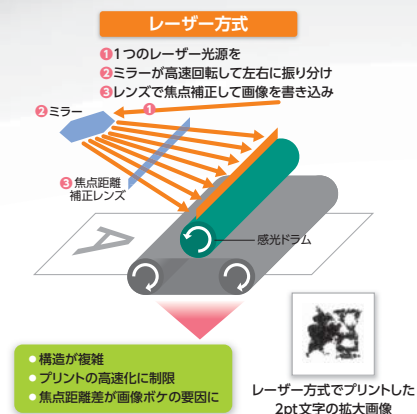
このように従来のオフィス複合機とは
真逆の発想で生まれたCOREFIDO3だ



が、小松さんの現在の業務に照らし合わ
せると、その柔軟性がそがまさに適合する
複合機に映ったらしく、早速モニター企画
に応募したという。

そうはいつでも、モニターの期間は2週間
ほどなので、実際に深刻なトラブルが起き
ることはなかったようだ。それでも、先々の
ことを想定して、実際に中を開けてみたこ
ろ、その構造に驚いたという。

小松さんは「本体排紙トレイを開けて、
中身のパーツをどんどん取り出してすぐか
らっぽにできるので、どこで紙詰まりをして
いるのかすぐに分かるのがいいですね。レイ
アウトも非常にすっきりしています。これ
だけ簡単なら管理部に依頼せずに社員が
自分たちでやってくれるかも……やってほ
しい(笑)」と話す。



確かにLED方式のシンプルな内部構造
は、今までレーザー方式のページプリンタ・
複合機を使用していた人にとっては驚きだ
ろう。レーザー方式は、光源をポリゴンミ
ラーで振り分け、レンズで焦点補正をする
という手順を踏んでいる。このため、部品点
数は多くなり構造が複雑になるうえに、それ
なりの光学経路も必要とする。

これに対してLED方式は、数千個の
LEDを並べたLEDアレイが至近距離から
感光体に直接照射するため、プリントヘッ
ドが占有するスペースが非常に小さくて済
み、内部のレイアウトに自由度を持たせ、使
い勝手を向上することができる。このこと
はCOREFIDO MC883dnwvの内部を実際
にのぞけば分かってもらえるだろう。

本体排紙トレイを開くと、トナーと感光
ドラムがフラットに配置されていることが一
目で分かる。このように用紙を曲げること
なく水平方向に送ることによって、紙詰まり
自体が生じ難い構造になっているのだ。も
し、紙詰まりが生じた場合でも内部のスペ
ースに余裕があるため、狭い隙間に無理矢
理に手を突っ込んでひっかき傷をつくるよ
うなことはない。トナー、感光ドラムとも
簡単に取り外して即座に復帰できる。

だが、ここまでは従来のCOREFIDO
にも見られた特徴だ。COREFIDO3の「メ
ンテナンスバリアフリー設計」にはもう1つ、
小松さんに「社員一人一人が自分たちで
トラブルを解決してくれるかも……」とい
う期待を抱かせるだけの機能が存在する。それが「新世代オペパネガイド」である。

いかに「簡単だ」「分かりやすい」と言
っても、それは小松さんのように多少なりと
扱いに慣れた人から見た感想であり、OA機
器に馴染みのない人にとってはやはり未知
の世界だ。しかも相手はゴツイ機械で、おま
けに部・課共用の備品とあっては、触れる



実際にトラブル時を想定してメンテナンスの手順を実演してもらった。LED方式のシンプルな構造ゆえ、トナーや感光ドラム、ベルトまであっという間に着脱できる。「こんなに簡単にメンテナンスができるなんて」と小松さんは驚く。

のに少なからずためらいが生じるのは無理もない。

そうした不安を解消するために、MC883dnwvのオペレーションパネルには、トラブルの際に常態復帰するまでの手順が図解やアニメーション付きで表示されるようになっているのだ。

「トラブルの内容に応じて、メンテナンスの手順がアニメーションでタッチパネルに表示されるので迷わずに作業を進められますね。内部を開いた状態でも、パネルの向きが自動的に切り替わるのもよく配慮されていると思います。これならパネルを見ながら作業ができますから、プリンタに慣れていない人でも簡単なトラブルなら対処できるかもしれません。そうなれば、ユーザー側で保守を待つ無駄な時間が減れますし、管理者側にとっても呼び出されて業務が中断されることもなく、互いにメリットが大きいです。この機能のことは周知していきたいですね」(小松さん)



メンテナンス時の手順を図解で示してくれる「新世代オペパネガイダンス」。スキャナユニットを持ち上げると自動的にユーザーの目線にパネルの角度を変えてくれるのも気が利いている

ダウンタイムを短縮し、ストレスを感じさせない「セルフメンテナンス」

これまでオフィス向け複合機は高額な保守コストを含み、専門スタッフにトラブル対処をまかせるのが当然と考えられがちだったが、COREFIDO MC883dnwvはメンテナンスバリアフリー設計によって従来の常識を覆してしまった。

この卓越したセルフメンテナンスを実現できたのは、先にも触れたようにLED方式のプリントヘッドによるところが大きい。レーザー方式だと、必要な部品の点数が多いうえに、ミラーのように可動する部位も内在している。複雑な機構であるがゆえに細部

の不調がプリントヘッド全体の不調に繋がってしまうのだ。そして、プリントヘッドのトラブルとなればユーザーがおいそれと対処できるはずもなく、おそらくメンテナンスバリアフリーは実現が困難だろう。

その点、LED方式のヘッドは構造自体がシンプルなので故障そのものが発生しにくい。ユーザーでは手の出しづらいコアの部分が頑強であればこそ、COREFIDOの原点である「5年間無償保証」が可能となり、さらには「メンテナンス品5年間無償提供」、「メンテナンスバリアフリー設計」へと展開することができたわけである。

また、今回は問題が発生しなかったことから使用する機会がなかったものの、クラウドを経由して複合機の状況を把握できる「クラウドメンテナンスプラットフォーム」にも小松さんは興味津々の様子。これはその名の通り、クラウドを経由してセルフメンテナンスをサポートするための仕組みであり、「クラウドガイダンス」と「リモートメンテナンスサポート」の2機能を用意している。

まずは「クラウドガイダンス」だが、これはエラーが発生した際にCOREFIDO MC883dnwvをクラウドに接続することにより、クラウド側でCOREFIDO MC883dnwvの状態を検査し、Webブラウザやスマートフォンアプリ(※アプリの追加インストールが必要)で最適な解決方法を通知してくれる機能である。夜間や週末などコールセンターの時間外でもトラブル解消の一助となってくれる。

「新タイトルのリリース前など非常に忙しい時期は、紙詰まりなどの単純なトラブルでも、管理部に知らせずに別のプリンターを使ってすませてしまうスタッフは割と多くて、その結果長時間放置されているということがあります」(小松さん)

トラブルシューティングにおいては、ユー

ザーが分からないままに復帰を試みた挙句、症状が悪化してダウンタイムが倍になるケースも間々ある。こうした悲劇を回避するうえでも、クラウドガイダンスは役に立ってくれるはずだ。クラウドガイダンスで検索をし、解決策が見当たらなければ素直にサポートセンターに電話すれば、悲劇の拡大は避けられるだろう。

そのサポートセンターに電話する際に役立つのが「リモートメンテナンスサポート」である。通常だと、サポートセンターのオペレーターに症状を正確に伝えるだけでもそれなりの労苦を要するものだ。

あれやこれやとオペレーターの指示に従って機器を何度も操作して、ようやく症状が判明するころにはかなりの時間を浪費し、多量のストレスを蓄積することとなる。これが「リモートメンテナンスサポート」では、ユーザー側では原因が把握できないようなトラブルであっても、クラウド経由でCOREFIDO MC883dnwvの状態がオペレーターに送られるため、短時間で的確な対処方法を聞くことができる。さらに、事前にユーザーが機器情報の取得に関する同意をしておくことで、オペレーターがリモートで複合機の設定を変更し、問題解決を行うことも可能だ。

メンテナンスバリアフリーとクラウドメンテナンスプラットフォームを併用することで、従来ではサービスマンにまかせきりだったトラブルに対して、ユーザーが柔軟に対応できるようになっている。忙しいオフィスほど、その機能に助けられることだろう。

セキュリティ管理も大幅に向上

そしてもう1つ、人事や経理を担当する斉藤さんと平林さんは、COREFIDO MC883dnwvの導入によってセキュリ

■イメージ図



ティ面の不安も払拭されたと語る。

管理部の業務では、雇用契約書からNDA書類まで、閲覧権限が限られる機密書類を扱うことが多い。また、情報管理の徹底が声高に叫ばれる昨今、印刷物の置き忘れはセキュリティ上の課題といえるが、この点についてもCOREFIDO MC883dnwvの導入によって一気に改善されたようだ。

COREFIDO MC883dnwvには「暗号化認証印刷機能」が標準搭載されている。これは文書にパスワードを設定し、操作パネルでこのパスワードを入力したときだけ印刷できるようにするもの。PCからCOREFIDO MC883dnwvへデータを送る前に文書が暗号化されるため、不正アクセスなどによる情報漏えいも防止できる（※MacOSは非対応）。また、今後はIC

カード認証印刷への対応も予定しており、よりセキュアな印刷環境を手軽に利用できるようにする。

「管理部門で主に使用しているモノクロレーザーでは、PC上で印刷ボタンを押してから（ほかの人に見られないように）急いで取りに行っていたんです。でもOKIさんの複合機ならユーザーごとにきちんと管理されて、タッチパネルでボタンを押してから出力されるので走る必要がなくなりました（笑）」（平林さん）。

「もちろん、他部署も含めて印刷物の置き忘れがないよう徹底はしていますが、どうしても人的ミスによるリスクはつきまといますし、そういう可能性があるというだけでストレスです。COREFIDO MC883dnwvで解消されてホッとしました。今後対応されるというICカード認証印刷ができるようになる

と一層便利になりますね」（斎藤さん）。

今回COREFIDO MC883dnwvを体験して、最も活用しているのはスキャン機能と語る小松さん。重要な書類はほぼスキャンしてクラウド上に保存し、紙書類は原本として保存してあるものの、運用上はすべてデータの形で行っているという。

いかにもイマドキのIT企業らしい効率的なやり方といえるが、そうした社内の効率化に率先して取り組む管理部門にとって、メンテナンスコストの削減や、機器の故障によるダウンタイムの短縮を図ることができるCOREFIDO MC883dnwvは、まさにうってつけのビジネスカラーLED複合機といえそうだ。

A3カラーLED複合機 製品ラインアップ

COREFIDO MC883dnwv

高いメンテナンス性で
ハードなビジネスを
サポートする大量給紙モデル

COREFIDO 3

5年間無償保証

5年間メンテナンス品無償提供

カラー・モノクロ	毎分35枚分*
● カラー	約11.7円
○ モノクロ	約2.8円

※普通紙、A4ヨコ送り/コピーモード(複数部印刷)時



COREFIDO MC883dnw

使い勝手のよさと
美しい印字を実現した
ハイスペックモデル

COREFIDO 3

5年間無償保証

5年間メンテナンス品無償提供

カラー・モノクロ	毎分35枚分*
● カラー	約11.7円
○ モノクロ	約2.8円

※普通紙、A4ヨコ送り/コピーモード(複数部印刷)時



COREFIDO MC863dnwv

コストパフォーマンスに
優れた大量給紙モデル

COREFIDO 3

5年間無償保証

5年間メンテナンス品無償提供

カラー・モノクロ	毎分35枚分*
● カラー	約11.7円
○ モノクロ	約2.8円

※普通紙、A4ヨコ送り/コピーモード(複数部印刷)時



COREFIDO MC863dnw

使いやすさを追求した
スタンダードモデル

COREFIDO 3

5年間無償保証

5年間メンテナンス品無償提供

カラー・モノクロ	毎分35枚分*
● カラー	約11.7円
○ モノクロ	約2.8円

※普通紙、A4ヨコ送り/コピーモード(複数部印刷)時

